

前期基本計画素案（健康・福祉、都市基盤・産業分野）

修正箇所抜粋版

1 『健康・福祉分野』

- | | |
|-------------------------------|----|
| (1) <u>施策13「高齢者の生活支援」</u> | P2 |
| (2) <u>施策14「介護保険制度の円滑な運営」</u> | P4 |

2 『都市基盤・産業分野』

- | | |
|-------------------------------------|----|
| (1) <u>施策72「地域商業の振興」</u> | P6 |
| (2) <u>施策74「観光資源の活用・創出による地域活性化」</u> | P8 |

3 高齢者サービスの充実

施策13 高齢者の生活支援

(1) 現状と課題

地域包括支援センターを拠点とする地域包括ケアシステムの構築に向けた、行政・医療機関・市民・関係機関・事業者・企業等の連携強化、在宅療養支援体制の整備、地域住民の主体的なネットワークづくりや活動の支援が課題となっています。

介護保険制度を円滑に運営することにより、在宅生活の全般を支援していますが、さらなる福祉施策の展開のために、制度で不足するサービスを補いながら、地域包括支援センターの機能を強化し、在宅生活支援の充実に努めていくことが課題となっています。

(2) めざす姿

介護や支援が必要な状態になっても、高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるよう、介護・医療・生活支援サービスに加え、高齢者が暮らしやすい住まいに係るサービスが提供されるとともに、地域住民が主体的に様々なネットワークを作り、市やNPO、民間等とも協働した身近な地域の支え合いが行われています。

施策指標

| 指標名(単位) | 指標の説明 | 現状値 | H29年度目標値 |
|-----------------------|--|--|----------|
| 認知症サポーター「ささえ隊」養成人数(人) | 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進するため、認知症を正しく理解し、本人と家族を応援する認知症サポーター「ささえ隊」の養成講座の受講者数です。増加を目指します。 | 4,422人 (H24年度) (75歳以上人口:22,448人) | 6,416人 |
| 災害時要援護者名簿登録指数(%) | 災害時要援護者名簿登録者数を75歳以上人口で除したものです。数値が減少しないよう、登録漏れをなくすよう努めます。 | 35.6% (H23年度) | 38.0% |
| 自立支援住宅改修給付件数(件) | 住宅改修などが必要と認められるおおむね65歳以上の方に対して、手すりの取付け及び浴槽などの取替え等の改修に対し助成を行い、住環境の改善を支援します。 | 110件 (H23年度) | 140件 |

市民に期待すること

- ・市民は地域の社会活動に参加し、健康づくりや介護予防の意識を高め、健康寿命を延ばすように努める。
- ・介護サービス事業者等の民間事業者・NPO等は高齢者への生活支援について、有償・無償のサービスにより提供する。

(3) 施策の方向性

- ・要介護状態にならないための介護予防をはじめ、介護や支援が必要になっても、生活全般の支援を地域で完結させる機能を目指した「地域密着型サービス」などにより、在宅生活が継続できるよう、行政や市民、関係機関等で連携しながら、高齢者の在宅生活を支援します。
- ・在宅療養支援窓口の設置や後方支援病床の確保をはじめ、医療が必要な高齢者の在宅生活を支えるために、様々な社会資源との連携による、地域包括ケアシステム*を構築するとともに、地域住民主体の自助と共助を基本とした、地域の支え合い体制の構築を目指します。

(4) 主要な事務事業

| 事業名 | H26～H29年度の取組 |
|----------------|---|
| 在宅高齢者住環境改善支援事業 | ・住宅改修を通じて在宅での住環境の改善を支援します。 |
| 認知症対策事業 | ・認知症になっても地域で安心して暮らせるよう、予防から早期発見、早期対応、ケア、家族支援までの一貫した取組を進めるとともに、認知症高齢者を見守り、支援する環境づくりなど、総合的な認知症対策の充実を図ります。 |
| 高齢者災害時対策事業 | ・災害時要援護者名簿への登録・更新を促進し、災害時に活用できるように整備を行います。 |

4か年の総事業費（主要な事務事業のみ） 2億円

※「地域包括ケアシステム」とは、高齢者ができる限り住み慣れた地域で、安心して生活できるよう、介護、介護予防、医療、生活支援サービスなどや住まいに関することなどを一体的に考え、対象者のニーズに合わせてサービスを提供するための地域での体制のことです。

3 高齢者サービスの充実

施策14 介護保険制度の円滑な運営

(1) 現状と課題

高齢化に伴い介護を必要とする要支援・要介護者の数が増え、介護サービスの利用量が増加しています。このため介護保険に要する費用が急速に増大してきたことから、介護保険の持続性を確保するために、財源の確保や介護保険サービスの効率化・適正化、サービスの拡充、サービスのさらなる質の向上が課題となっています。

(2) めざす姿

介護や支援が必要な状態になっても、高齢者が尊厳をもって住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるよう、介護保険サービスの充実に努めています。

施策指標

| 指標名(単位) | 指標の説明 | 現状値 | H29年度目標値 |
|------------------|---|------------------|----------|
| 前期高齢者の要介護認定率(%) | 65歳から74歳までの府中市人口に占める要介護(支援)認定者の割合です。介護予防への取組に対する効果等により減少を目指します。 | 4.7% (H23年度) | 4.0% |
| 介護保険サービスの周知度(%) | 介護保険サービスの各内容について知っている市民の割合です。増加を目指します。 | 68.7% (H23年度) | 75.0% |
| 軽度認定者が重度化する割合(%) | 更新申請の結果、前回の介護度よりも重度化している人の割合です。減少を目指します。 | 31.1% (H23年度) | 25.0% |

市民に期待すること

- ・市民は、介護保険の制度内容や介護方法などについての理解を深め、生活に活かす。
- ・介護事業者は介護保険の事業について、法令を遵守し適切なサービスを提供する。

(3) 施策の方向性

- ・介護保険制度を将来にわたって持続可能な制度とするため、介護保険サービスの効率化、適正化を図ります。
- ・在宅生活を支えるための、地域に密着したサービスの整備をするとともに介護サービスの質の向上を図ります。

・様々な居宅サービスを利用して在宅生活の困難な高齢者のために、施設サービス等の計画的な整備を図ります。

(4) 主要な事務事業

| 事業名 | H26～H29年度の取組 |
|---------------|---|
| 介護保険運営事業 | ・介護保険制度の円滑な運営を図ります。 |
| 介護保険給付事業 | ・居宅系サービス、施設系サービスの基盤整備を推進します。 |
| 介護保険給付適正化推進事業 | ・円滑なサービス提供のために、利用者及び事業者対象の相談・助言を行う体制を強化します。 |

4か年の総事業費（主要な事務事業のみ） 537億円

5 商工業の振興

施策72 地域商業の振興

(1) 現状と課題

商店会ではイベントなど様々な取組を通じて、地域住民とのふれあいの機会を作っています。しかしながら、未加入事業者の増加、商店会会員の高齢化など商店会活動を行うに当たっては厳しい環境となっています。今後、消費者の生活様式やニーズの多様化・高度化に対応した魅力ある商店街づくりが求められています。

(2) めざす姿

生活者の日常生活の利便性や快適性の向上と地域商業の振興が図られ、商業者と市民をはじめとする消費者との交流の促進を通じた活気ある商店街づくりと商業活動の活性化が図られています。

施策指標

| 指標名(単位) | 指標の説明 | 現状値 | H29年度目標値 |
|---------------------------|---|------------------|----------|
| 市内店舗において商品を購入する市民の割合(%) | むさし府中商工会議所で実施している府中市消費動向調査を用い、市内での消費率の向上を目指します。 | 78.7% (H21年度) | 80.0% |
| 日常の買い物の便がよいと感じている市民の割合(%) | 府中市市政世論調査を用い、市民の買い物の利便性の向上を目指します。 | 70.6% (H23年度) | 75.0% |

市民に期待すること

- ・活気ある商店街と商業活動の活性化を目指し、地域住民とのふれあいや住民ニーズに対応した創意あふれる商店街づくりを進める。
- ・未加入事業所の商店会加入促進を図る。

(3) 施策の方向性

- ・商店会等へアドバイザーを派遣します。
- ・商店会が実施するイベント・活性化事業等に対して支援します。
- ・事業者による創意あふれる新たな府中特産品の開発等を支援します。
- ・地域通貨制度など持続可能な商業振興策について商工会議所との連携を図ります。

(4) 主要な事務事業

| 事業名 | H26～H29 年度の取組 |
|---------------|--|
| 商店会振興事業 | ・商店会等にアドバイザーを派遣して、商店会の活性化に向けた取組みを支援します。 |
| 商店街振興事業 | ・商店会の実施するイベント事業、装飾街路灯、アーチ等の設置、修繕等及び電気料に対して支援を行います。 |
| 府中市特産品等開発支援事業 | ・事業者等の創意工夫をいかした特産品等の開発を支援することにより、府中市の魅力の向上と商業及び観光の振興を図ります。 |

4か年の総事業費（主要な事務事業のみ） 3億円

5 商工業の振興

施策74 観光資源の活用・創出による地域活性化

(1) 現状と課題

府中市観光情報センターや郷土の森観光物産館から、観光情報を発信するとともに観光案内人ボランティアによる観光ガイドツアーを実施しています。

市内では、数多くのイベントが開催されていますが、観光客を呼び込むこととともに滞在時間の延長や楽しんでもらうための基盤整備が必要となっています。

(2) めざす姿

浅間山、府中崖線、けやき並木や多摩川などの自然環境や歴史的な名所・旧跡、伝統的な催事などの魅力を広く市内外に情報発信をすることで、市内を訪れる観光客が増え、賑わいのあるまちとなっています。

施策指標

| 指標名(単位) | 指標の説明 | 現状値 | H29年度目標値 |
|---------------------|--|---------------------|----------|
| くらやみ祭の来場者数(人) | 本市の代表的な観光資源でもあるくらやみ祭への観光客の集客に努めます。 | 700,000人 (H24年度) | 750,000人 |
| 郷土の森観光情報センター来場者数(人) | 郷土の森観光物産館内にある観光情報センターの来場者を増加させることにより、本市の効果的なPRに努めます。 | 12,400人 (H23年度) | 12,900人 |

市民に期待すること

- ・民間活力による観光、飲食店等の情報を発信する。
- ・おもてなしの機運を醸成する。
- ・地域ブランドの創出や発信の強化に一層取り組む。

(3) 施策の方向性

- ・観光情報を市内外に効果的な手法により発信していきます。
- ・観光客のニーズにあった情報をNPO団体や民間事業者と協力して発信していきます。

・名所・旧跡、けやき並木や多摩川などの自然環境、郷土の森博物館や美術館などの文化施設等の様々な観光資源を活用し、集客を図ります。

・本市の特産品の活用や観光大使などの媒介役を通じたPRなどにより本市の魅力を伝え、誘客に努めます。

(4) 主要な事務事業

| 事業名 | H26~H29年度の取組 |
|--------------|--|
| 観光振興事業 | <ul style="list-style-type: none">・新たな観光資源の発掘や既存の観光資源のPRに努めつつ、集客を図ります。・NPO団体である府中観光協会の専門性を活かした事業に対して、支援を行います。 |
| 観光情報施設管理運営事業 | <ul style="list-style-type: none">・郷土の森公園周辺をはじめとした観光情報の発信や情報収集に努めます。 |

4か年の総事業費（主要な事務事業のみ） 2億円